

木曾シンポ2021

# はじめに

小林尚人



TOMOE  
GOZEN



# 木曾観測所とは？

- ◆東大の唯一の国内天文台
- ◆1.05mシュミット望遠鏡
  - ◆広視野
- ◆自動観測天文施設
  - ◆コロナ下でも定常運転を続けた

- ◆ゆったりとした時間
  - ◆もうすぐ50周年



# 光赤外の50年



◆口径の時代(-2030) JWST/TMTでsaturation達成

◆検出器の時代(1980-) BG-limited既達成、分光でのPN-limited、2次元化

◆データの時代(2000-) 大規模データからの情報の抽出

- 天文は他の分野とは違い「誰にでも手が届く形態」にどんどん変遷している
- この最後のフロンティアを制した人の勝ち
  
- リソース投入率が日本は特に少ない  
(世間一般のモノづくり神話依存と同じくハードウェア依存の慣性強すぎ?)  
→リソースに頼らないアイデアを出すチャンス(木曾は実験場)

楽しみにしております